

臨床薬学英語 B Clinical Pharmaceutical English B

医療科目 2年/後期 1単位 自由選択科目

科目責任者 石橋 賢一(病態生理学研究室)

■ 教育目的

医学、薬学に関連した最新の話題を取り上げたコラムを英語で読んで理解して、語彙を増やしたり表現方法をマスターする。さらに背景になっている最新の科学・医療事情についても知識をつける。また SGD を通して英語で話したり書いたりする運用能力も身につける。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-①、YD-④、YD-⑤、SD-②、SD-③、SD-④】

■ 学習到達目標

1. Medical Terms を語源で理解する。
2. 薬の名前を語源で理解する。
3. 科学・医学コラムが読解できる。
4. ネットの英語学習サイトが活用できる。
5. 海外の医療事情を知る。
6. 英語ドラマが視聴できる。
7. 英語の講義が理解できる。
8. TOEIC 点数が向上する。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：課題の英文を読んで理解する(30分)

復習：重要語句をノートに整理する(15分)

■ 授業形態

課題解決型学習、ディスカッション・ディベート、プレゼンテーション、双方向型授業（ICT活用）、講義

■ 授業内容

1. Three minute report: その週あった event について各自がオーラルレポートする。
2. Interesting words and expressions: 興味ある語彙を紹介する(格言、諺も含む)。
3. Ten minute writing: テーマについて自由英作文を 10 分で書き上げて読み上げて発表する。
4. Scientific and Medical English column を読んで内容について discussion する。
5. Youtube や海外医療ドラマ (Dr House や ER) の DVD ビデオで海外の医療事情を知る。
6. アメリカ内科学会の講義や TED トークを視聴する。
7. TOEIC 問題練習。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	総論	自己紹介。科学・医学英語の基礎・覚え方。効率的な英語学習法についてのフリーカンパセション。	
2~15	Scientific and Medical English column など	最新の話、その他(「授業内容」を参照) 毎回新しい教材を取り上げる。必要に応じて日本語訳も行う。	

■ 授業分担者

石橋 賢一

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

授業は録音して MYCAST にアップするので自分の英語を振り返ることができる。

出席・授業態度(10%)、期末試験(90%)で総合評価する。

■ 教科書

プリントを配布

■ その他

海外研修コースの準備教育としても有用である。

臨床薬学英語 A を取得している必要はない(臨床薬学英語 A と B を独立して受講できる)。